'86.10.4 読売新聞

熱中なかま

ジャズ専門のフルバンド

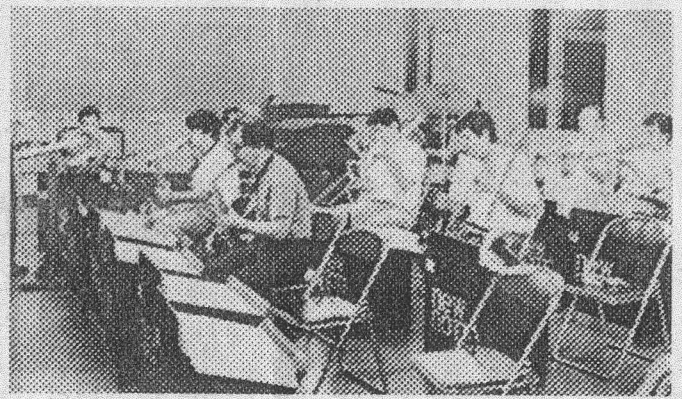
ニューノーツオーケストラ（川口市）

四十三年に、市立川口高吹奏楽部のOBたちが集まって結成した県内でも数少ないアマチュアのフルバンド。ジャズが専門だが、たたら祭りのステージをはじめ、ダンスパーティーから身障者施設の慰問まで、「手弁当でもいいから演奏したい」という、根っからの音楽好きの集団だ。

現在のメンバーは十八人。年齢は十代から五十代までと幅広く、職業も一級建築士、都バス運転手、酒屋、市職員と多士済々。それだけに、毎月第一、三十曜日の夜、市の青少年会館で行っている練習も、時間通りに始めることも、全員がそろうこともなかなかむずかしい。しかし、そこは十八年間の積み重ねと呼吸の良さでカバー、「世界最高のビッグバンド、カウントベーシーを目指したい」と張り切っている。「二世を入れてバンドを作ること」が将来の夢という。

メンバーの今年最大の目標は、来月二十三日、川口産業会館八階ホールで開かれる三回目のコンサート。現リーダーの東海林明さん（三五）になって初めてとあって、メンバーの意気込みは大きい。

現在、トランペット、トロンボーンの奏者を募集中。また「低料金でOK」と、出演依頼も受け付けている。連絡は、東海林さん（夜間＝0482・65・9877）へ。



コンサートに向け練習に励むメンバー